



28. 護岸法張ブロック(0.50m×.40m×.15m)施工中。

29. 護岸法張ブロック(1.00×.60×.45)施工中。

## 護岸法張ブロック

コンクリートは1:3:6、水比65%、工場製作にしてブロックコンクリートとす。法張ブロックの表面の凸凹部は、河岸の水勢を殺ぎ以つて水流を遠避け、且堤脚に土砂の沈澱を招來せしむものなり。尙本方法（谷口東京土木出張所長案）に依れば、従來のブロックの植石式よりも、水の抵抗も大で運搬が簡單で美觀上も確に良い様である。

水門、閘門新設により、新水路河岸の破損の虞れ大なる處には、全般的に敷設を行つた其の面積凡そ10,700m<sup>2</sup>にして、殘餘の部分には植石式ブロックを配した。敷設方法は馬力にて運搬し、堤塘天端より2條の軌條により迂り卸し、裏込砂利を15cm厚に敷詰めた其の上に敷設し、目地には5米置きにアスファルト目地板を、其の他にはモルタルを填充した。

